

エコアクション21 環境経営レポート2022

(22年7月～23年6月)



環境省
エコアクション21
認証番号 0003279

株式会社 枚方技研

作成：2023年10月1日

● 目次

1. 事業活動の概要	*****	P 3
2. 環境経営方針	*****	P 4
3. 実施体制組織表	*****	P 5
4. 活動負荷実績及び環境経営目標	*****	P 6
5. 環境活動の取組計画と評価	*****	P 7
6. 主要な活動計画	*****	P 8
7. 環境関連法規則の遵守状況	*****	P 9
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示*****		P 10

1. 事業活動の概要

株式会社 枚方技研

代表取締役 森山 知佳津

▶ 本社所在地

大阪府枚方市津田山手2丁目20番10号
(津田サイエンスヒルズ内)

▶ 事業内容

- ・ 半導体、液晶基板製造装置等の精密機械、及び各種自動機の機械設計、同製作
- ・ 防振材、防振台、衝撃緩衝台の開発、製造、販売

▶ 事業規模

	売上高 (億円)	従業員 (人)	事業所 面積 (㎡)	RDI(工場) 面積 (㎡)	駐車場 面積 (㎡)	総敷地 面積 (㎡)
43期 22/7/1～ 23/6/30	5.4	38	888	501	600	4,653
42期 21/7/1～ 22/6/30	4.9	38	888	501	600	4,653

注：事業年度：7月1日～翌年6月30日

▶ 環境管理責任者（連絡先） 総務部 森山 昇

電話 072-396-9001

▶ 認証・登録の対象組織・活動

対象組織：株式会社枚方技研

対象活動：

- ・ 半導体、液晶基板製造装置等の精密機械、及び各種自動機の機械設計、同製作
- ・ 防振材、防振台、衝撃緩衝台の開発、製造、販売

2. 環境経営方針

環境経営方針

●基本理念

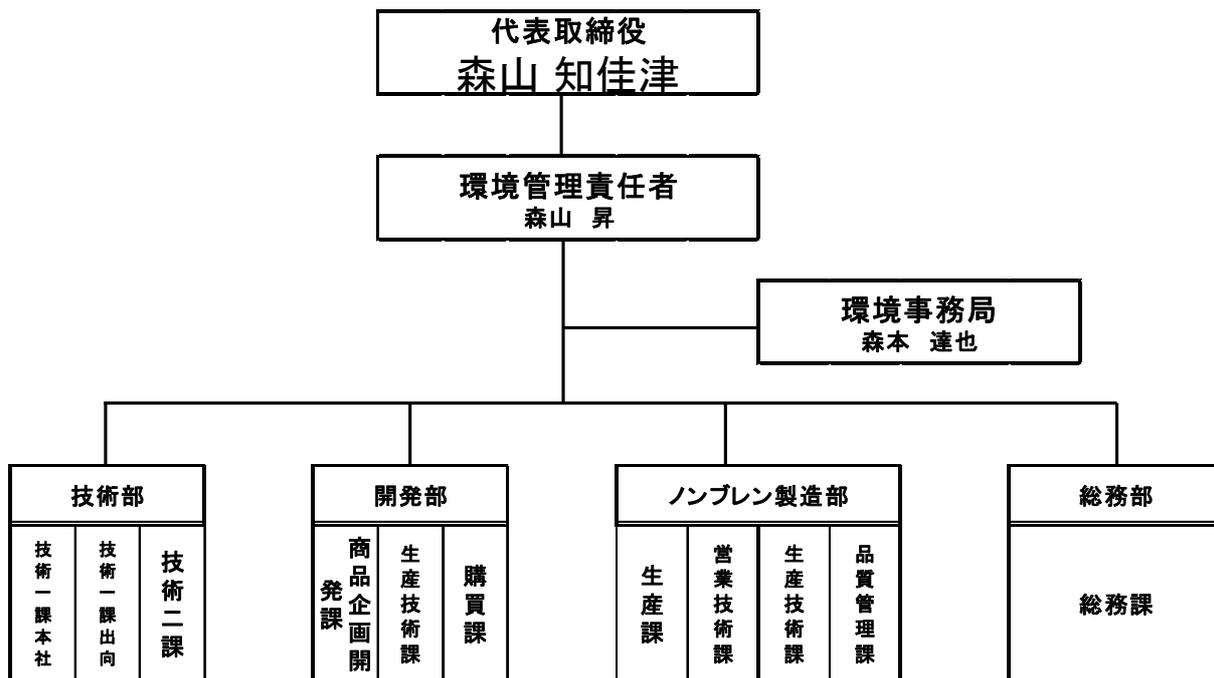
当社は、世界的問題である地球温暖化に向けて、自然と調和のとれる環境づくりに貢献し、ありとあらゆる環境負荷の低減を追求し、当社の設計事業、機械製作設計事業、防振材、除振材、衝撃緩衝材の開発、製造、販売活動の一環として、全従業員に周知し、環境経営の継続的改善に積極的に取り組み、企業として社会的貢献を果たします。

●環境経営方針

1. 電力エネルギーの節電に努めます。
2. 節水への取り組みをします。
3. 社用車における燃料消費の削減に努めます。
(エコドライブの推進)
4. 一般廃棄物削減（コピー用紙、その他）をします。
5. 環境関連法規制や当社が約束した事を順守します。
6. グリーン商品購入の推進に努めます。
7. 環境配慮型商品の開発・販売等の推進をします。
8. 化学物質等の適正管理を推進し、環境負荷物質の継続的な削減に努めます。
9. 環境経営の継続的改善に取り組みます。

2020年1月30日
株式会社 枚方技研
代表取締役 森山 知佳津

3. 実施体制組織表



役 職	役 割
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統轄責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間技能技術者を用意 環境管理責任者の任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 環境経営目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境経営計画を承認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境経営目標、環境経営計画原案の作成 環境経営計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト、訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2020年1月5日
森山 昇

4. 環境負荷実績及び環境経営目標

1. 環境負荷実績 当社における環境負荷の実績

項目	区分	単位	28期(基準年)	42期	43期
				2021/7/1~ 2022/6/30	2022/7/1~ 2023/6/30
二酸化炭素 排出量	購入電力	kg-CO ₂	※60,937	47,290	42,743
	ガス	kg-CO ₂	(オール電化)	0	0
	ガソリン	kg-CO ₂	20,379	6,698	7,514
	軽油	kg-CO ₂	5,216	0	0
	総排出量	kg-CO ₂	※86,532	53,988	50,257
水使用量	上水	m ³	485	270	280
廃棄物排出量	一般ゴミ	kg	1,594	324	214
	他	kg	-	-	-
	他	kg	-	-	-
	産業廃棄物	kg	-	41	40
	総排出量	kg	1,594	365	254
	総排水量	m ³	485	270	280

〔備考〕※40期より関西電力(株)の二酸化炭素排出係数:0.418Kg-CO₂/KWh (2017年度(H29年度)の排出量係数)

2. 環境経営目標

環境目標	単位	28期(基準)	42期	43期	44期	45期	46期	47期
		2007年 換算値	2021年 目標	2022年 目標	2023年 目標	2024年 目標	2025年 目標	2026年 目標
二酸化炭素排出量の削減 (換算値比で40期より換算値変更)	Kg-CO ₂	69,722	67,888 (8%削減)	67,888 (8%削減)	67,888 (8%削減)	67,888 (8%削減)	67,888 (8%削減)	67,888 (8%削減)
コピー用紙の削減 (35期より見直し34期基準442kg)	Kg	1,594	415 (6%削減)	411 (7%削減)	411 (7%削減)	406 (8%削減)	406 (8%削減)	402 (9%削減)
総排水量の削減 (換算値比で36期迄に8%削減)	m ³	485	427 (12%削減)	422 (13%削減)	422 (13%削減)	417 (14%削減)	412 (15%削減)	412 (15%削減)
グリーン商品購入 (35期迄に6品目購入)	点数	-	10	10	10	10	10	10
ノンブレン商品の不良品削減 (率)購入量に対しての不良品	%	-	2.90% (7%削減)	2.80% (7.2%削減)	2.70% (7.3%削減)	2.60% (7.4%削減)	2.50% (7.5%削減)	2.40% (7.6%削減)
耐震補助グッズ「ビタッピー」他及び 企業向け転倒防止商品の売上高	千円	-	4,200	6,000	7,500	8,400	10,000	12,500

廃棄物の排出量を抑える事を掲げます。それに伴い二酸化炭素の排出量削減を可能な限り目標値に近づける為の取り組みを試みていきます

5. 環境活動の取組計画と評価

28期（基準年）の換算値と、43期の計画とその実績についての評価を行った。
 [備考] 40期より購入電力の二酸化炭素排出係数：0.418kg-CO₂/kWh（2017年度(H29年度)の排出量係数)

取組計画	達成状況		単位	評価
			基準年度比	
◎電力の削減 省エネ目標説明 節電運動展開 不要照明の消灯 冷房 28℃ 暖房 22℃	基準年	48,796	kg-CO ₂	目標達成 昼休みの消灯さらに不要な照明箇所の消灯など徹底した。 管理職がエアコンのON・OFFの操作の管理している。
	目標	44,892	-8.00%	
	実績	42,743	-12.40%	
◎燃料(ガソリン+軽油)使用量の削減 自動車燃費向上目標の説明 アイドリングストップ 冷暖房の控え目使用 急加速・急停止の防止	基準年	24,996	kg-CO ₂	目標達成 ハイブリット車の導入が削減に寄与 公共交通機関の利用促進に努めた。 打合せ等がリモート対応で可能となり出張が大幅に減少
	目標	22,996	-8.00%	
	実績	7,514	-69.94%	
◎一般廃棄物の削減(コピー用紙) 一般廃棄物削減目標の説明 帳票見直しによる印刷物の削減 ミスコピーの防止	基準年	442	kg	目標達成 コピー用紙の表裏の使用の徹底 資料などデータ化の推進等また業務の効率化で削減継続している。
	目標	411	-7.00%	
	実績	170	-61.54%	
◎節水 水道水削減目標の説明 節水の呼びかけ	基準年	485	m ³	目標達成 節水の励行を徹底している。
	目標	422	-13.00%	
	実績	280	-42.27	
◎グリーン商品購入	基準年	0	品目/月	目標達成 必要最低限の購入に努めている。
	目標	10	品目	
	実績	12	品目	
◎ノンブレン商品の不良品削減	基準年	8	33期より	目標達成 商品の原価意識を徹底したこと 商品の成型を2人体制することで、業務遂行にゆとりができたことでミスが減少
	目標	2.8	%	
	実績	1.2	%	
◎3D補助グッズの販売 企業向け転倒防止商品販売	目標金額	6,000	千円	目標達成 企業向けの耐震固定商品が順調販売
	実績	11,062		
総括 電力の削減、長年目標未達であったが、前年6月に全照明の約35%LED蛍光灯に換えたので目標達成できた。				

6. 主要な活動計画

【活動期間：44期 2023/7/1～2024/6/30】

▶ 電力使用量の削減

- 1) エアコンの温度調整をこまめに管理する。
(夏季：28度 冬季：22度)
- 2) 不要照明の消灯。
(休憩時間等の時間帯は照明を消灯させる事を徹底させる。)
- 3) OA 機器等の無駄な作動の停止。
(主に退席時のディスプレイ電源 OFF を徹底させる。)

▶ ガソリン使用量の削減

- 1) アイドリングストップの実施。
- 2) 省エネ運転についての教育。(急加速、急停止の防止、冷暖房控えめ)

▶ 廃棄物排出量の削減 (コピー用紙)

- 1) ゴミの分別回収実施。
- 2) ミスコピー削減
- 3) 帳票見直しによる印刷物の削減

▶ 排水量削減

- 1) 節水を心がける。(ポスターや回覧による呼びかけ)

▶ グリーン商品購入推進

- 1) エコマーク品の購入
- 2) 事務用品の再生紙商品購入

▶ 環境配慮型商品の開発・販売の推進

- 1) 原材料の購入量に対しての不良品削減
- 2) 原材料の未使用削減
- 3) 生産性効率の向上に努める
- 4) 3D耐震補助グッズ「ビタッピー」・「ビタブロック」・「ビタプレート」の販売
ノンブレン使用で企業向けに耐震等の転倒防止商品の販売

7. 環境関連法規則の遵守状況

(1) 当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規制は以下の通りです。

法規等名称	適用内容	規制基準値、その他	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板掲示(60cm 角以上)	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書・業者の許可証	○
	委託契約書の保管	5年間保管	○
	マニフェストの管理・保管 枚方市産業廃棄の届出書	5年間保管(A/B2/D/E 票)	○
騒音規制法 振動規制法	騒音・振動の設備設置時 枚方市に届出	届出施設: 集塵装置(1基) 平削盤(1基) 大阪府生活環境の保全等 に関する条例	○
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可 消火器の設置、通報の義務	特定施設: 事務所棟、研究開発棟 危険物倉庫	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検	四半期毎に簡易点検記録	○
労働安全衛生法	有機溶剤の環境測定	半期ごとに点検・実施	○
	化学物質に携わる健康診断		

(2) 違反、訴訟等

新社屋移転後 16 年が経過し、関係当局より違反指摘事項はなく
周辺住民からの苦情及び訴訟はありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. エコ21を取り組んで16年が経過し、環境に対する意識・自覚が社員の間浸透している。節電運動の展開で昼休み消灯、適正冷暖房の徹底・エコドライブ運動の展開・帳票見直しによる印刷物の削減・ミスコピーの防止等全社員に徹底されているものと認識している。
2. 環境経営方針については、従来の方針を継続し、環境経営目標で39期からの3D補助グッズの販売に40期より企業向けで震災等の転倒防止商品の販売を加え目標設定し効果が期待どおりであった。
枚方市の「ふるさと納税」のお礼品にビタッピー等が認められ、また官公庁などで弊社の耐震等の転倒防止商品が採用されるなど社会貢献に寄与している。
また、今期Webサイト上でのビタッピー等の商品のショッピングカートを構築し商品販売を開始した。

3. 計画等の見直し

項目	見直し
①環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり
②環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり
③実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり

4. エコ21は確実に定着しており、その取り組みは高く評価しており、今後も継続して活動していきたい。

次回レポート発行予定日 2024年10月頃

評価日：2023年8月21日

評価者：代表取締役 森山 知佳津